

平成 21 年 1 月 30 日

上場会社名 株式会社セラーテムテクノロジー
代表者名 代表取締役社長 今井 一孝
(コード番号 4330 大証ヘラクレス S)

業績予想の修正に関するお知らせ

近時の業績動向等を踏まえ、平成 20 年 8 月 8 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1 平成 21 年 6 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正

(平成 20 年 7 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	一株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	1,100	△ 50	△ 50	△ 50	△ 626 円 30 銭
今回修正予想 (B)	1,058	△ 183	△ 211	△ 220	△ 2,755 円 75 銭
増減額 (B-A)	△ 42	△ 133	△ 161	△ 170	△ 2,129 円 45 銭
増減率 (%)	△ 3.8	—	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 6 月期第 2 四半期)	1,256	△ 60	△ 73	△ 77	△ 975 円 87 銭

2 平成 21 年 6 月期通期連結業績予想数値の修正

(平成 20 年 7 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,500	10	10	5	62 円 63 銭
今回修正予想 (B)	2,000	△ 320	△ 350	△ 360	△ 4,509 円 41 銭
増減額 (B-A)	△ 500	△ 330	△ 360	△ 365	△ 4,572 円 04 銭
増減率 (%)	△ 20.0	—	—	—	—
(ご参考)前期実績	2,378	△ 241	△ 268	△ 336	△ 4,211 円 88 銭

3 修正の理由

(1) 第2四半期連結累計期間の業績予想について

売上高につきましては、当社の主力製品であるフォント管理(Font)分野の新製品が発売されたものの、経済環境の悪化と市場動向の変化の影響により、当社の最大市場である北米において売上が当初の計画に至りませんでした。また、日本韓国を中心に展開しているデジタル文書圧縮配信(Doc)分野が不振に終わり、当初の業績予想に達しませんでした。

営業利益につきましては、上記売上高の減少に加え、12月に公表したとおり、米国 Equilibrium 社との提携強化のため、独占的 OEM 権を 68 百万円で取得するなど、積極的な投資を行ったことや、業績不振により第2四半期末をもって閉鎖を決定した韓国支店において貸倒引当金を 13 百万円積み増したことなどから、当初の予想に比して損益が悪化いたしました。

経常利益、四半期純利益につきましては、円高により外貨建金銭債権等から為替差損が 38 百万円発生したこと、韓国支店閉鎖の特別損失を7百万円計上することなどから、当初の予想に比して損益が悪化いたしました。

以上の結果から、上記の通り、業績予想を修正いたします。

(2) 通期の業績予想について

当社の中心市場である北米では、深刻な不景気に陥っており、当社の営業活動においても苦戦が強いられております。そのため、当期の上半期における売上未達および営業赤字を下半期で挽回することは困難であると思われまます。また、当初の予想を上回る円高ドル安により、連結売上高の 95%以上を占める米国子会社の円換算後の売上金額および営業利益が計画より減少することが見込まれます。

また、為替の影響により外貨建金銭債権等から為替差損が発生することから、経常利益および当期純利益も当初の計画より悪化することが見込まれます。

以上の見込みから、上記の通り、業績予想を修正いたします。

以上

(注)上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

当社は、個別業績予想は開示しておりません。

■ 本件に関する報道関係お問い合わせ先
株式会社セラーテムテクノロジー IR 担当

TEL: 03-5408-5780 <http://www.celartem.com/inquiry.asp>